

諫早市総合計画審議会及び諫早市まちづくり総合戦略推進会議にかかる【御意見】

No.	内 容
1	<p>このまま人口が減っていき、消滅都市になってはいけません。</p> <p>① 県央では唯一消滅しないと予想される大村市との都市間競争に負けないよう、大胆な土地利用施策の変更で、諫早市の土地価格を下げ住居を求めやすくする。</p> <p>② 子どもを産んで育てやすくするために、子育て支援の大胆な変更、改善。</p> <p>③ 10年かけて「住みやすさ全国一の都市」をめざす。</p>
2	<p>今、農村地域は、高齢化、嫁不足、担い手不足という、人口減少に連がる問題に面していて、子どもが少なく、地区全体がさびれていくような気がして寂しくなっています。</p> <p>まず婚活イベントを開いてもらって、今居る担い手に嫁にきてもらいたいです。また、農業体験イベントも開催し、農業の良さをアピールし、この地区で農業をしてもらいたいです。そういう活動を先導してやってくれる指導者又は仕掛人を行政の協力によって派遣してもらいたいです。住もうと思えば空き家も増えてきています。それを利用して、グリーンツーリズムならぬオレンジツーリズムを広げていければと思っています。</p> <p>消費拡大と経営安定のための加工、販売は必要ですが、6次産業化は、今農業で頑張っている私たちは生産で精一杯なので、加工販売まで携わる余裕はありません。各分野を一体化して、販売まで連げられるのを協力していただきたいです。</p> <p>地元の子どもたちに、地元の良さを知ってもらうために、中学校と協力して体験学習として、みかん収穫祭に参加してもらう計画をしています。</p>
3	<p>1 市の取り組みについての重要度では、どの地域でも就労支援、働く場の確保が1位になっているのでは…。(市民は経済的な安定を多く求めているのではないか)</p> <p>○企業誘致(中小企業支援)○観光地の整備○商店街の活性化(全てに繋がるのでは)</p> <p>① 都市計画、調整区域の見直し、空き家対策(リフォームして格安で若者に貸出)</p> <p>② スポーツ交流、イベントを多数開催(若い人の発想など、話し合いの場を)</p> <p>③ 大型商業施設が必要(駐車場の確保)</p> <p>2 地域のリーダー育成</p> <p>いろいろな団体がある中で、リーダーになる人、役員になりてがないとよく聞きます。地域のリーダーをどうやって育てるかが課題です。女性部連絡協議会を作り、各団体との連携活動ができれば、リーダーが育っていくと思います。</p>
4	<p>【総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅から医療機関までに距離があると、車を運転できない高齢者にとっては非常に不便です。今後は地方医療との連携が必要です。特に、眼科の数が多いと助かります。 ・高齢者のためにも移動販売等があれば非常に便利です。 ・道路の整備も大事だが、交通事故を減らす方が大事なので、今ある道路を再点検し、危険性を減らしていくような生活密着型の取組が必要です。 <p>【総合戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プレミアム商品券」の販売は、まちは人で賑わい、地域の活性化につながりました。これからは、少ないお金をいかに工夫して使うかして、それを楽しみにしていくのが大事です。 ・出会いの機会が少ないので、婚活支援に力を入れ、若者が残るようにしてほしいです。

諫早市総合計画審議会及び諫早市まちづくり総合戦略推進会議にかかる【御質問】

No.	内 容	回 答																														
1	<p>長崎市181人 西彼杵郡55人 島原市48人 雲仙市73人 の転入と大村市 △171人、福岡 方面△233人 (特に大村市)へ の転出が多いの は、なぜか？</p>	<p>諫早市では、平成26年6月から転入者と転出者に対し、理由等をお尋ねするアンケートを実施しています。</p> <p>アンケートにお答えいただいた方の結果を見ますと、例えば長崎市からの転入は、就職、住宅事情、婚姻関係での理由が多くなっており、大村市への転出は、婚姻、就職関係、住宅事情の理由により転出が多くなっています。</p> <p>主なものは次のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>転入</th> <th>転出</th> <th>差</th> <th>アンケートによる主な異動理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長崎市</td> <td>1,017</td> <td>836</td> <td>181</td> <td>①就職、②住宅事情、③婚姻関係での転入</td> </tr> <tr> <td>西彼杵郡</td> <td>182</td> <td>127</td> <td>55</td> <td>①就職、②住宅事情、③婚姻関係での転入</td> </tr> <tr> <td>島原市</td> <td>134</td> <td>86</td> <td>48</td> <td>(アンケートでは県内その他として集計)</td> </tr> <tr> <td>大村市</td> <td>367</td> <td>538</td> <td>△ 171</td> <td>①婚姻、②就職関係、③住宅事情での転出</td> </tr> <tr> <td>九州</td> <td>1,355</td> <td>1,588</td> <td>△ 233</td> <td>①就職、②進学関係での転出</td> </tr> </tbody> </table>		転入	転出	差	アンケートによる主な異動理由	長崎市	1,017	836	181	①就職、②住宅事情、③婚姻関係での転入	西彼杵郡	182	127	55	①就職、②住宅事情、③婚姻関係での転入	島原市	134	86	48	(アンケートでは県内その他として集計)	大村市	367	538	△ 171	①婚姻、②就職関係、③住宅事情での転出	九州	1,355	1,588	△ 233	①就職、②進学関係での転出
	転入	転出	差	アンケートによる主な異動理由																												
長崎市	1,017	836	181	①就職、②住宅事情、③婚姻関係での転入																												
西彼杵郡	182	127	55	①就職、②住宅事情、③婚姻関係での転入																												
島原市	134	86	48	(アンケートでは県内その他として集計)																												
大村市	367	538	△ 171	①婚姻、②就職関係、③住宅事情での転出																												
九州	1,355	1,588	△ 233	①就職、②進学関係での転出																												
2	<p>10年後のまちづくりに は、10年後 中心となる人(現 在の30歳～40 歳台)の人々が 考え、行動する 必要がある。 若い人に考え る場や活動の場 を与えることが必 要では</p>	<p>「諫早市総合計画」の策定において 昨年実施しましたワークショップにおきましては、学生などの若い委員を選出して御意見をいただけてきました。</p> <p>今年は8月上旬に骨子を作成し、下旬には市長が市政全般、地域の活性化及び総合計画骨子に対する市民の意見を直接聴くことを目的とした「まちづくり懇談会」を開催することとしています。</p> <p>また、11月には素案を作成し、パブリックコメントの実施を予定しています。そのような場で若い人に積極的に御参加いただき、御意見を徴取していきたいと考えています。</p> <p>「諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定において30歳～40歳代の方を対象とした会議開催等については出席率など難しい面もあります。</p> <p>そこで、地域メディア(諫早CATV、FMいさはや、ナイスいさはや)などを通じて広報し、メール、FAX等で御意見をいただくようにすることや大学の活用なども考えていきたいと思っております。</p> <p>なお、今回の委員選出につきましては、総合計画審議会の委員は40代以下の委員が2割を占め、前回より若い委員の選出に心がけ、また、総合戦略推進会議の委員も40代以下の委員が半数を占め、学生などの若い委員を選出しております。</p>																														